



て、広域交通の利便を図るためのフル・インターチェンジ化の促進。側道の高度利用を図るための桂川への三橋りよりの架設。さらに、都市の健全な発展を図るために、四日市場古川渡線街路事業を推進して参ります。

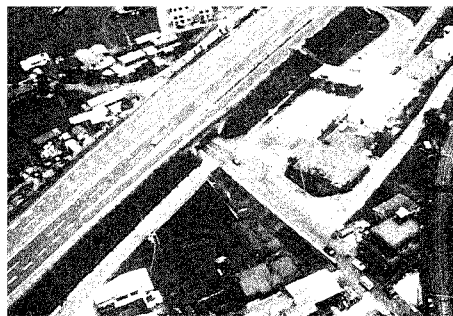
住宅団地の建設につきましては、現在、県営態井戸団地を建設中でありますが、本年には、地域の均衡ある発展を図るため、盛里地区に市営団地を建設いたす計画であります。

環境衛生につきましては、長年の懸案でありました一連の一般廃棄物処理施設が、田

野倉地区関係者のご理解と、ご協力によりいよいよ完成の運びとなりました。

本年は、この周辺に勤労者野外体育施設を配置し、環境整備を進めて参ります。

国体で盛りあげた「街をきれいにする運動」を、市民のご協力をいただき、更に強気に続けられることを願っております。



▶インター付近空撮

住民福祉の増進

高齡化社会を迎えて住民福祉の対応は、まず、地域福祉の推進にあります。

このため、総合的地域福祉施策を市民や各種団体の積極的な参加をいただき、各地区への福祉サービスの拠点づく



▲ひとり暮らし老人地域介助組織発足会

りなどきめ細やかな地域ぐるみの福祉を展開して参ります。住民それぞれが何等かの役割を分担しながら、連帯感を培い、共に助け合う地域福祉の確立を目指すため、ボランティアビューローが行っているボランティアの登録を積極的に、在宅福祉サービスの小グループを組織して現在実施されている地域介助協力者との連携を保ち、ケア、サービスの密度を濃くして参ります。

また、在宅ねたきり老人等介護している家族が疾病にかかるなど、一時的に居室における介護ができなくなることもあります。このような時、特別養護老人ホーム、養護老人ホームに保護する場合、市の単独事業で、在宅老人短期保護事業として、経費は利用者への負担を軽減していただくため、市で負担いたします。

教育・文化の向上

市民の教育を保障するため、市民の生涯学習やレクリエーションの場として、総合運動公園や地区を単位とする公民館等の社会教育施設、あるいは、農村公園を整備して参ります。

生涯学習が日常化されるに伴い、市民の郷土の歴史や文化活動に対する学習意欲が高まって参ります。

このような状況に対処するため、博物館・美術館・民俗館などを総合した郷土館や、文化ホールの建設構想を将来展望に立ち検討して参ります。義務教育の面では、本年度留文科大学附属小学校の建設と東桂中学校屋体を建設いたします。

校舎についてはこれで全校耐火構造となりますが、さらに広い視野と長期的展望にたつて、人間味と創造力あふれる学校教育を進めるため、幼児教育の振興を図ると共に、小中学校施設、設備をはじめとする教育環境の整備を図って参ります。

都留文科大学につきましては、さらに研究・教育のための環境づくりに努力して参ります。